

# その生ごみ、捨てる前に再利用しませんか。 循環する私たちの暮らし



☎ 1023017 岡ごみゼロ推進課(☎042-581-0444)、  
市長公室広報係(☎042-514-8092)



▲大豆の脱穀作業を行う様子



▲野菜くずを利用したたい肥で、元気に育った赤カブを収穫！

## 生ごみは捨てるもの？ リサイクル、できます！

生ごみの水分量は約80～90%と言われています。水分を大量に含むごみの焼却には、多大なエネルギーを消費し、環境負荷の原因にもつながります。

この捨てられるはずだった生ごみをリサイクルする取り組みをご存じですか。生ごみのたい肥化に取り組んでいるせせらぎ農園では、令和3年度に約26,500kg分の生ごみを回収しました。家庭から出る生ごみを活用して、無農薬・無化学肥料で野菜を育て、収穫した野菜は地元住民で分け合っています。



▲待ちに待った野菜の収穫！  
この日は大根を収穫しました。

(※)LFC…ローカルフードサイクリングの略。バッグ型のコンポスト。生ごみコンポストの使い方講座は18ページで紹介しています。ぜひご覧ください。

また、私たちが家庭で出す生ごみを、ダンボールコンポストやLFC(※)コンポストにためて、せせらぎ農園の集積場に持ち込み、たい肥として活かすことができれば、生ごみは出て困るものではなく、地域の「宝」となります。

循環型の取り組みを生活の一部にして、一人ひとりがアクションを起こすことで、将来の地球環境を変えることができます。私たちにできる身近なことから始めてみませんか。

## 家庭の生ごみがたい肥に生まれ変わるまで



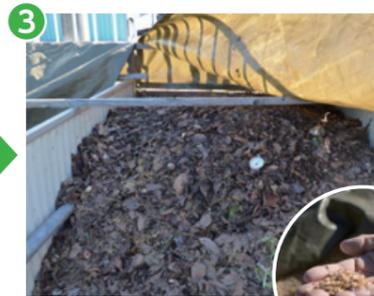
### 生ごみをせせらぎ農園に

家庭から出る野菜くずなどの生ごみをせせらぎ農園へ持参し、備え付けの生ごみBOXに入れます。



### 上から落ち葉をかけます

投入した生ごみの上に、団地などで集めた落ち葉や竹チップなどの有機物をかけます。三つある生ごみBOXは約1カ月で満タンに！



### 微生物、発酵中

熟成場に移動し、もみ殻や米ぬかなどを加えます。約3カ月で生ごみは完全に分解され、たい肥に変身！野菜の植え付けができる状態へ。

## まちの生ごみ活かし隊



家庭から出た生ごみを収集し、たい肥にして野菜を栽培する循環型の取り組みを行うのは、新井にある「せせらぎ農園」。農園としての役割だけではなく、地域住民がふらっと気軽に立ち寄れるコミュニティガーデンとしての役割もあります。

毎週火曜・木曜・日曜日の作業日には、まちの生ごみ活かし隊のメンバーを中心に、多くの方が生ごみのリサイクルや学生への環境教育、農作業などの活動をしています。

生ごみリサイクルにチャレンジしたい方など、どなたでも参加できます。

市内に、生ごみBOXがあるコミュニティガーデンが増えますように！

まちの生ごみ活かし隊  
代表 佐藤 美千代さん



## 援農ボランティア養成講座

第19期生  
追加募集

## 「農の学校」で農業の知識を学びませんか

☎ 1018745

岡都市農業振興課(☎042-514-8447)



農業者の高齢化や担い手不足への支援として援農ボランティア養成のための「農の学校」を開校しています。農業の技術を身に付けて、援農活動に参加しませんか。

☎ 2月～12月の平日※講座による知識習得(月1回)、圃場での実習(月2～5回)

☎ 七ツ塚ファーマーズセンター、実習圃場☎ 援農活動を実践するための農業知識、技術習得、圃場の管理作業☎ 修了後、市内の農家で援農活動ができる方☎ 申込制で10人※書類審査あり☎ 2月17日(金)までに電話またはEメール(☎ sangyo\_nousan@city.hino.lg.jp)

### 第18期生 活動の様子



▲①ジャガイモの収穫②サニーレタスの植え付け③石灰を散布する様子



## 空き家はまちの資源



## 空き家対策 実施中!

☎ 1005325

岡都市計画課(☎042-514-8371)



市では「日野市空き住宅等対策計画」で三つの目標を掲げ、自治会などと連携して、取り組みを行っています。

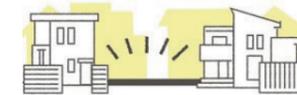
### 目標1 空き家を放置しない

空き家とその予備軍を早い段階で把握し、所有者が適切に管理できる施策を推進します。



### 目標2 近隣に迷惑をかける空き家をなくす

管理がされず近隣の迷惑となる空き家をなくしていき、倒壊しそうな空き家を発生させない施策を推進します。



### 目標3 空き家を地域の課題解決の資源とする

地域のニーズに応じて、空き家が交流の場・地域の生活利便性や魅力が高まる場として活用される施策を推進します。



## 空き家対策の出前講座を行います!

- 日野市の空き家対策を詳しく聞きたい
- 地域の空き家を把握しているが、どう対処したらよいか分からない など  
空き家について詳しく講義します。※説明～質疑応答で1時間程度を想定



☎ 申込時に相談※平日、夜間、土曜・日曜日など可☎ 会場は申込者が確保☎ 次のいずれかに該当する方①自治会や防災会など市民中心の任意団体②5人以上の市民☎ 電話またはEメール(☎ tosikei@city.hino.lg.jp)で。団体名、代表者名、電話番号、開催希望日時(第3希望まで)。場所を記入